

「(仮称)新潟駅の拠点性向上」の計画概要 (社会資本総合整備計画)

計画の概要		計画の成果目標 (定量的指標)		
成果目標	定量的指標	現況値	中間値	目標値
◎計画の期間：平成30年度～平成34年度(5年間) ◎計画の目標： ◇鉄道で分断されている南北市街地の一体的利用を促進する。 ◇公共交通の充実により交通の円滑化を図り、交流・連携を強化する。 ◇都市基盤整備を行い都市機能を強化することで、新潟駅の拠点性向上を図る。 ◎総事業費：約320億円	新潟駅の公共交通利用者数を 100,984人/日(H30当初)から103,600人/日(H34末)に増加	100,984人/日	-	103,600人/日
踏切自動車交通遮断量を 36,572台時/日(H30当初)から0台時/日(H34末)に減少	踏切自動車交通遮断量 (台時/日)	36,572台時/日	-	0台時/日

H30年度

高架駅第一期開業(越後線高架化)

踏切除却による安全性と利便性の確保



天神尾踏切(着手前)
米山踏切(着手前)

H33年度

高架駅全面開業

在来線の高架化による南北市街地の一体化



高架駅開業のイメージ

H34年度

高架下交通広場の供用

交通結節機能の強化と基幹公共交通軸の形成



高架下交通広場のイメージ

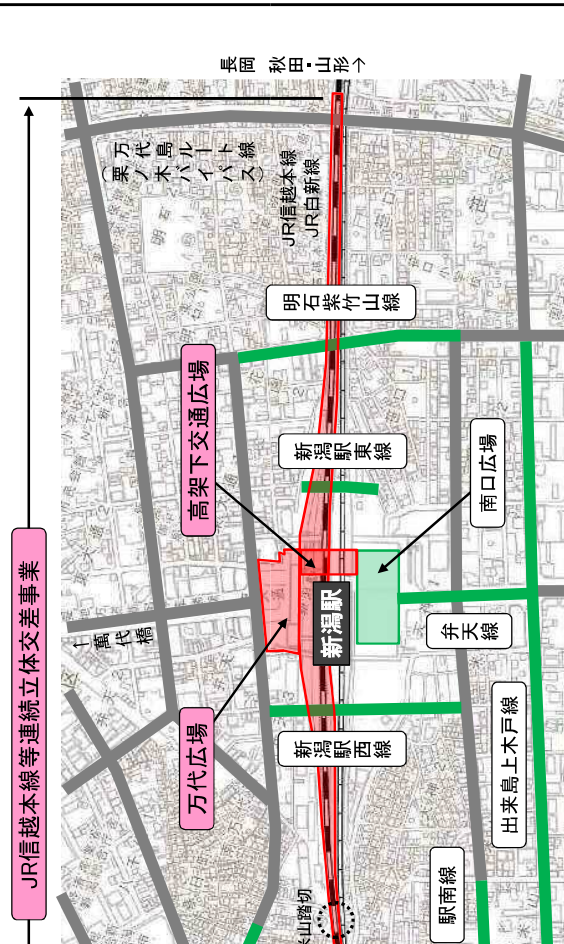
H35年度

万代広場の供用

新潟駅の拠点化とにぎわいの創出



万代広場のイメージ



※ 将来のイメージ図は、今後の検討・協議により変更の可能性があります。